

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	白色腐朽菌を用いたダイオキシン類低減化に関する研究（第3報）
発表学会名	第21回環境化学討論会
発表者名	三木 崇（環境部）
開催場所	愛媛県県民文化会館（松山市）
発表日時	平成24年7月11日（水）
発表内容	<p>福井県内で確認された染色排水(染料由来)のダイオキシン類汚染も対象に、低コストで環境負荷の小さい処理技術として、キノコの一種(白色腐朽菌)の分解酵素を利用した低減化試験を検討した。</p> <p>高濃度の汚染土壌やばいじん試料を対象に、試作型の酵素製剤や、液相分解による直接処理を試行したが、明確な分解効果は認められておらず、過剰な金属成分などが酵素の阻害要因となっている可能性がある。一方、汚染土壌のトルエン抽出液に関しては一定の分解効果が確認できており、今後はこれらの結果を踏まえ、分解処理システムの処理方法について検討を進める予定である。</p>